

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 神経難病確定診断支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3319)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 360 千円 (前年度予算額： 360 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	360	180	0	0	0	0	0	0	180
要求額	360	180	0	0	0	0	0	0	180
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内でクロイツフェルト・ヤコブ病、特に変異型が思料される場合に、クロイツフェルト・ヤコブ病は症例が少なく、一般診察医は対応に苦慮する。そのため、一般診察医と専門医等が緊急に連絡を取ることができる体制を整備する。

(2) 事業内容

クロイツフェルト・ヤコブ病が思料され、剖検・確定診断が必要な場合に、実施可能な医療機関に委託し、専門医の派遣や剖検・確定診断を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	360	専門医の派遣・剖検等
合計	360	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

クロイツフェルト・ヤコブ病は症例が少ないため、専門医の派遣や剖検等により、迅速かつ確実な診断体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

当事業の内容は数値で示すことができないため、指標の設定をすることはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	実績なし。 引き続き、発生時には迅速に対応できるようにする。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和5年度	実績なし。 引き続き、発生時には迅速に対応できるようにする。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	実績なし。 引き続き、発生時には迅速に対応できるようにする。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	症例数は少ないために、発生した際には一般診療医では対応は困難である。しかし、発生動向を把握するためには、迅速かつ確実な対応が必要であるため、当事業の必要性は継続している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	当事業の活用によって、クロイツフェルト・ヤコブ病の確定診断に繋がっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	対応可能な専門医の在籍している医療機関に委託することにより、迅速かつ確実な実施につながっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 症例数が少ないため、県下の神経内科医等に事業の周知を図り、迅速かつ確実な診断体制の強化を図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病は、異常プリオンを含む食肉の摂取により発症するもので、その発生動向の把握は重要であり、今後も当該疾患が思料される場合には迅速に対応する必要があるため、継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--